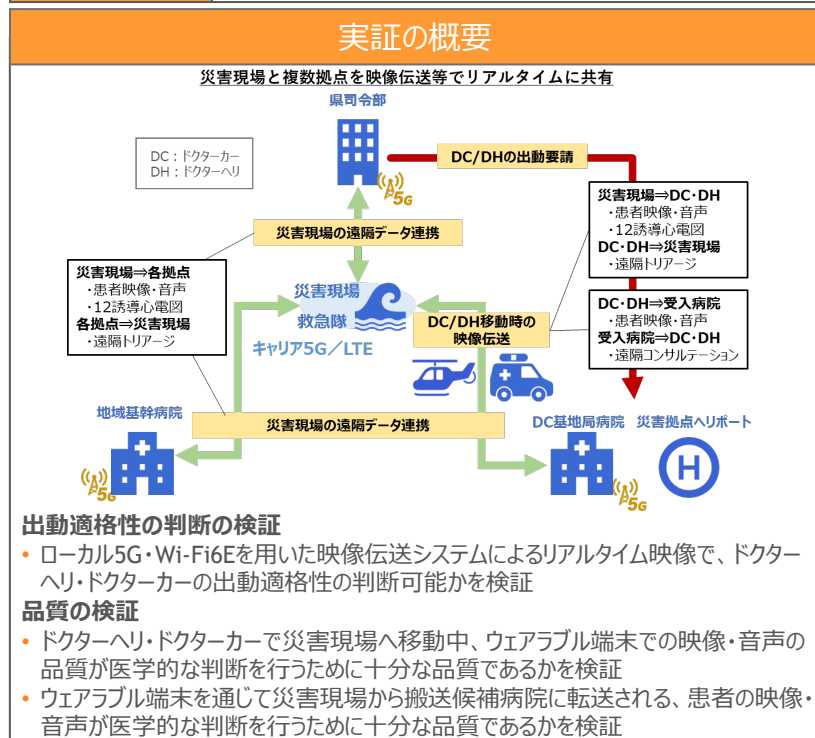


リアルタイム映像伝送等を利用した災害医療体制の強化

実施体制 (下線：代表機関)	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、徳島県、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)ソリトンシステムズ、ケーブルテレビ徳島、中日本航空(株)、阿南市消防本部、海部消防組合消防本部、鳴門市消防本部、JA徳島厚生連阿南医療センター、徳島県立海部病院、徳島県立中央病院、徳島赤十字病院	実施地域	徳島県徳島市（徳島県立中央病院、徳島県庁）、徳島県小松島市（徳島赤十字病院）、徳島県阿南市（JA徳島厚生連阿南医療センター）、徳島県海部郡（徳島県立海部病院、海部消防組合消防本部）、徳島県鳴門市（鳴門市消防本部）
目標	➤ 治療開始までに行う業務項目数削減 ➤ ドクターヘリ・ドクターカーの出動適格性判断向上 ➤ 搬送先選定の迅速化・精度向上	通信技術	ローカル5G、Wi-Fi6E、5G、LTE
実証課題	医師が偏在する徳島県各市において、南海トラフ地震発生時に医療供給が不足し得る。災害時に最適な医療配分を実施するためには、映像等の情報から県司令部が複数の災害現場の優先順位付けをする必要がある。だが、転送される映像が医療行為の決定に十分な品質を確保する必要があるという課題が存在		



実証の結果・考察

※「」は、実証の結果欄に経緯の記載がないため、成果報告書「実装・横展開に向けた準備状況」を参照のこと

実証 結果

【1】出勤適格性の判断

- 目標：5段階評価で「有効であった」（4以上）の評価結果：平均3.8(N=6)

【2】通信スループットの評価（走行・飛行中の受信映像）

- 目標：2Mbps以上(DC)、2Mbps以上(DH)
- 結果：2.11Mbps(DC)、2.00Mbps(DH)

※スループットは、アプリケーションが映像を伝送した1秒毎の通信量のうち、上位20%のものを平均した値

実装の 課題と 解決時期

- 異なる組織間での運用を行うための共通ルールの策定※例）セキュリティ基準、トラブル発生時の対応手順、不通エリアでの対応等（解決の目途2027年3月）
- 実運用に応じた継続的な改修を実施※例）ルームのアクセス権限、UI/UXの改善（要望・予算による）（解決の目途2027年3月） ※いずれも予算化が前提

横展開の 課題と 解決時期

- 徳島県内での実装実績の蓄積（解決の目途2027年3月）
- 各地域に適した運用ルールの策定（解決の目途2028年3月）

※いずれも予算化が前提

実装・横展開に向けたスケジュール

実装 (2025年4月～調整中)	横展開 (2026年～)
- 要件定義、見積もり、予算化対応を実施し、県庁関係部署と調整 - システムを改善（音声系統・ルーム移動の設計） - 実装環境を構築し、特定の地域での運用を開始 - 実運用に合わせた運用ルールを策定・実装実績を蓄積	- 自治体関係者のヒアリング・販売パッケージの検討 - 要件定義、予算化対応を実施し、関係部署との調整 - 横展開先への実装(完了時期は未定)